

学校番号 15 長野西高等学校通信制課程 令和3年度 学校評価表

学校教育目標	中・長期目標
1 社会についての深い理解と健全な判断力とを養い、よりよい社会を創造するための資質を育てる。 2 自主自立の精神を培うと共に、他人を敬愛し、社会の一員としての責任を自覚する。 3 青年期の特質を理解して、常に健全な身体をつくることを心がけ、豊かな情操と聡明な知性とを陶冶する。 4 広い教養と体験を通して自己の適性を発見させ、更にこれを伸展して社会に奉仕するための職業的資質を養う。	1 学習指導の充実を図り、生徒の単位修得や卒業後の自立に向けた支援を行なう。 2 生徒一人一人を大切に生徒との信頼関係を構築すると共に、生徒相互の豊かな人間関係を深めるための支援を行なう。
	本年度の重点目標
	① 生徒の実態に合わせた学習指導の改善や工夫をすすめ、生徒の単位修得や卒業後の社会的な自立に向けた支援を行う。 ② 学習に困難を抱えている生徒一人一人に対して特別な援助を行う。 ③ 信友会活動などを通して、生徒同士が関わり合い、豊かな人間関係を結ぶ機会をつくりだし、社会に歩みだす自信と他者への信頼感を育む。 ④ 人権・生命を尊重し、いじめや体罰のない安心安全な学校づくり。

A : 良くできている
 B : まあまあできている
 C : あまりできていない
 D : できていない

対象	評価項目	評価の観点	A	B	C	D	感想や提言、要望など
学習指導	① 添削指導の充実	生徒の学力状況に合った適切なレポートの作成ができたか。また、一人一人の生徒の学習の励みになる添削指導ができたか。	10	9	0	0	Googleクラスルームを導入するなどし、解説プリントを送付したり個々の質問に対応することで効率化を図れると思います。
	① 面接授業の充実	公開授業の交流等を通して、生徒の学習意欲を喚起し、レポート作成に役立つ面接授業ができたか。	8	9	2	0	例年通り公開授業期間を計画し、実施した。
	② 特別な学習援助	学習に困難を抱えている生徒に対して、きめ細かな支援ができたか。	5	11	3	0	個人面接などの指導を通して教科担当が支援している。しかし、自分から質問もできず、集団の中にも入ることが出来ない生徒がいるのも現状である。
生活指導	全 学校生活や社会のマナーやルールの遵守	問題行動に対し、全職員で情報共有をし、協力して指導にあたることができたか。	8	11	0	0	何かあればすぐに係から職員、生徒に連絡があり、情報共有が出来ていた。
	④ 基本的人権・生命を尊重する考え方の育成	いじめ、体罰を許さない安心・安全な環境づくりや人権教育を通して生徒に人権の大切さの理解を深めさせたか。 自殺予防教育等を通して、生命の大切さの理解を深めさせたか。	8	11	0	0	週に1回の登校ではあるが、職員が見回りを行い、生徒の様子に気を配っている。生徒情報について職員全体が共有出来ている。 人権平和教育について学習し、あらためて戦争の悲惨さと平和の尊さを生徒が学ぶことが出来た。
進路指導	① 生徒個々の進路目標実現に向けての支援と助言	生徒への情報伝達、職員間の情報伝達・情報共有など密に行うことができたか、生徒一人一人に対応した指導はできたか。	9	9	1	0	毎月発行されている進路だよりを通して生徒及び保護者に情報が送られている。
		ハローワーク長野・ハローワーク上田・ジョブカフェ信州・コミュニケーションアイなど外部組織と連携した通信制型の進路指導の推進ができたか。	5	12	2	0	ハローワークやジョブカフェと連携をとりながら、生徒の就職に関して進められていた。
信友会活動	③ 信友会本部委員会の力量の向上	信友会活動の意義を理解させ、役員生徒の力量を向上させるとともに、生徒が主体的に活動できるように支援できたか。	5	10	4	0	信友会顧問が手を入れざるを得ないが、その中でも少しずつ主体的に活動しようと言う機運は見られてきた。
	仲間づくりや自主的な活動への支援	多くの生徒が参加できる信友会行事や委員会活動・クラブ活動などを計画し、それらを通して生徒間の人間関係づくりや自主的な活動を支援できたか。	5	9	4	1	限られた活動の中で生徒個々の役割に応じて支援をすることができた。
通信情報	全 紙面作成の技術向上と質の充実	必要な情報をわかりやすく編集し、発行後内容を検討して今後に生かすことができたか。	6	12	1	0	毎月発行されている通信情報が学校と生徒、保護者との大切なつながりの役目を果たし、紙面も見やすい形式になっている。
特別生徒支援相談	② 個のニーズに応じた適切な学習支援	レポート作成に困難を抱える生徒やテストの不合格者に対し、的確な判断のうえに適切な個別指導がなされたか。	6	12	1	0	テストに3回不合格した生徒や個別面談の必要な生徒に対して教科担当が個別に指導できた。
学校運営	全 職員間の協力・共同の推進	係会や委員会、教科会・学年会などを通して職員間の意思疎通が深められているか。	7	11	1	0	協力体制はとれていたと思う。これからも風通しよくやっていきたい。
		ホームページや学校説明会などを通して、通信制高校の学習形態や本校の様子について理解してもらえるよう努めたか。	6	11	2	0	HPを活用出来たと思う。今後も通信環境を最大限利用できるような心がける。